



## 2019年3月期 決算短信(日本基準)(連結)

2019年5月7日

上場会社名 株式会社 ニッセイ  
 コード番号 6271 URL <http://www.nissei-gtr.co.jp/>

上場取引所 東名

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 長谷川友之

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 常務執行役員 (氏名) 阿部正英

TEL 0566-92-1151

定時株主総会開催予定日 2019年6月18日

配当支払開始予定日

2019年5月29日

有価証券報告書提出予定日 2019年6月18日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2019年3月期の連結業績(2018年4月1日～2019年3月31日)

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期	19,336	1.2	718	26.0	745	39.7	520	57.1
2018年3月期	19,579	8.8	970	102.4	1,236	159.5	1,211	64.3

(注) 包括利益 2019年3月期 192百万円 (84.5%) 2018年3月期 1,238百万円 (216.4%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2019年3月期	18.75		1.2	1.6	3.7
2018年3月期	43.67		2.8	2.7	5.0

(参考) 持分法投資損益 2019年3月期 百万円 2018年3月期 百万円

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年3月期	45,584	42,855	94.0	1,545.38
2018年3月期	46,463	43,328	93.3	1,562.45

(参考) 自己資本 2019年3月期 42,855百万円 2018年3月期 43,328百万円

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2019年3月期	1,974	2,043	688	6,173
2018年3月期	1,599	3,958	633	6,947

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2018年3月期		12.00		12.00	24.00	665	55.0	1.5
2019年3月期		12.00		12.00	24.00	665	128.0	1.5
2020年3月期(予想)		12.00		12.00	24.00		95.1	

(注) 2018年3月期第2四半期末配当金の内訳 普通配当 11円00銭 記念配当 1円00銭  
 2018年3月期期末配当金の内訳 普通配当 11円00銭 記念配当 1円00銭

### 3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,000	3.4	900	25.3	950	27.4	700	34.6	25.24

注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
 以外の会計方針の変更 : 無  
 会計上の見積りの変更 : 無  
 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年3月期	29,194,673 株	2018年3月期	29,194,673 株
期末自己株式数	2019年3月期	1,463,626 株	2018年3月期	1,463,396 株
期中平均株式数	2019年3月期	27,731,170 株	2018年3月期	27,731,561 株

(参考)個別業績の概要

2019年3月期の個別業績(2018年4月1日～2019年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期	18,865	1.9	552	30.9	592	42.7	384	62.1
2018年3月期	19,227	8.0	800	105.5	1,034	137.5	1,014	45.1

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期	13.86	
2018年3月期	36.57	

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	%	円 銭		
2019年3月期	45,263		42,582		94.1	1,535.55		
2018年3月期	46,320		43,168		93.2	1,556.66		

(参考) 自己資本 2019年3月期 42,582百万円 2018年3月期 43,168百万円

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の実績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっては、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご覧ください。

(決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法)

当社は、2019年5月23日(木)にアナリスト向け説明会を開催する予定であります。この説明会資料については、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定であります。

(日付の表示方法の変更)

「2019年3月期 決算短信」より日付の表示方法を和暦表示から西暦表示に変更しております。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	3
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 連結貸借対照表 .....	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	6
連結損益計算書 .....	6
連結包括利益計算書 .....	7
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	11
(継続企業の前提に関する注記) .....	11
(表示方法の変更) .....	11
(セグメント情報等) .....	11
(1株当たり情報) .....	14
(重要な後発事象) .....	14
4. 補足情報 .....	15

## 1. 経営成績等の概況

## (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、輸出や生産の一部に弱さもみられるものの、雇用環境の改善が続き、緩やかな回復が続いております。

また、米国経済は企業収益や雇用環境の着実な回復が続いているものの、今後の貿易政策などに留意する必要があります。中国経済は、通商問題の長期化等によって景気が下振れするリスクがあります。

このような状況の中、当社グループにおきましては、国内市場では自動車用及びロボット用歯車の減少により減収となりました。一方、海外市場ではロボット用歯車が減少したものの、中国における減速機事業の新規顧客の獲得により堅調に推移しました。

その結果、当連結会計年度の売上高は、19,336百万円（前連結会計年度比1.2%減）となりました。

利益面におきましては、営業利益は減価償却費、新モデル投入のための費用や広告宣伝費の増加等により718百万円（同26.0%減）、経常利益は営業利益の減少と前期に発生した投資事業組合運用益147百万円がなくなったため745百万円（同39.7%減）となりました。また、親会社株主に帰属する当期純利益は経常利益の減少と前期に発生した保有株式の売却による特別利益342百万円がなくなったため520百万円（同57.1%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

## 減速機

国内売上は海外経済の減速に伴う製造業全般の景況感悪化影響、特に半導体・液晶製造設備などの減少により、10,801百万円（同0.5%減）となりました。海外売上はEV向け二次電池製造設備などにより中国向けの売上が増加し、3,786百万円（同6.2%増）となり、減速機合計は14,587百万円（同1.2%増）となりました。

利益面におきましては、減価償却費や新モデル投入のための費用の増加等により、セグメント利益は527百万円（同28.0%減）となりました。

## 歯車

国内売上は自動車用及びロボット用歯車の減少により4,419百万円（同6.9%減）となりました。海外売上は、ロボット用歯車の減少により184百万円（同31.6%減）となり、歯車合計は4,604百万円（同8.2%減）となりました。

利益面におきましては、売上の減少に伴う売上総利益の減少により、セグメント利益は100百万円（同30.3%減）となりました。

## 不動産賃貸

愛知県名古屋市内に賃貸マンション2棟を運営しております。売上高は145百万円（同1.0%減）、セグメント利益は90百万円（同3.2%減）となりました。

## (2) 当期の財政状態の概況

## (資産)

当連結会計年度末における流動資産は19,665百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,330百万円増加いたしました。これは主に投資有価証券からの振替により有価証券が2,960百万円増加したことによるものであります。固定資産は25,919百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,209百万円減少いたしました。これは主に投資有価証券が3,044百万円減少したことによるものであります。

この結果総資産は45,584百万円となり、前連結会計年度末に比べ878百万円減少いたしました。

## (負債)

当連結会計年度末における流動負債は2,557百万円となり、前連結会計年度末に比べ350百万円減少いたしました。これは主に従業員賞与引当金が71百万円、未払法人税等が144百万円減少したことによるものであります。固定負債は172百万円となり、前連結会計年度末に比べ54百万円減少いたしました。

この結果負債合計は2,729百万円となり、前連結会計年度末に比べ404百万円減少いたしました。

## (純資産)

当連結会計年度末における純資産合計は42,855百万円となり、前連結会計年度末に比べ473百万円減少いたしました。これは主に親会社株主に帰属する当期純利益520百万円の計上、剰余金の配当665百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は94.0%（前連結会計年度93.3%）となりました。

## (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、税金等調整前当期純利益が691百万円（前連結会計年度比54.6%減）、有価証券の売却及び償還による収入が2,051百万円あったものの、投資有価証券の取得による支出が2,733百万円、有形固定資産の取得による支出が1,518百万円あったことにより、前連結会計年度末に比べ773百万円減少し、当連結会計年度末には6,173百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

## （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は1,974百万円（同23.4%増）となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益691百万円、減価償却費1,851百万円、たな卸資産の増加△553百万円等によるものであります。

## （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は2,043百万円（同48.4%減）となりました。これは主に、有価証券の売却及び償還による収入2,051百万円、投資有価証券の取得による支出2,733百万円、有形固定資産の取得による支出1,518百万円等によるものであります。

## （財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は688百万円（同8.8%増）となりました。これは主に、配当金の支払額665百万円等によるものであります。

## (4) 今後の見通し

国内経済は、雇用環境の改善が続くなかで各種経済政策の効果があると予想される一方、消費税増税や米中貿易摩擦等により景気が左右される懸念があります。他方、米中貿易関係の動向及び影響、為替の変動等、不透明な経営環境が続くと予想されます。

このような環境の中、翌連結会計年度（2020年3月期）の連結業績見通しにつきましては、売上高20,000百万円（前連結会計年度比3.4%増）、営業利益900百万円（同25.3%増）、経常利益950百万円（同27.4%増）、親会社株主に帰属する当期純利益700百万円（同34.6%増）を予想しております。

なお、業績見通しの前提となる為替レートにつきましては、1米ドル=105円、1中国元=16.2円を想定しております。

また、上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループの利害関係者の多くは、国内の株主、債権者、取引先等であり、海外からの資金調達必要性が乏しいため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当連結会計年度 (2019年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,311	1,488
グループ預け金	5,638	4,689
受取手形及び売掛金	4,135	3,666
電子記録債権	1,103	1,188
有価証券	2,053	5,013
製品	269	364
仕掛品	1,933	2,169
原材料及び貯蔵品	818	1,034
その他	70	51
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	17,334	19,665
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,307	5,996
機械装置及び運搬具(純額)	4,643	4,875
土地	2,853	2,853
リース資産(純額)	32	11
建設仮勘定	139	140
その他(純額)	369	212
有形固定資産合計	14,345	14,090
無形固定資産		
投資その他の資産	489	488
投資有価証券	12,819	9,775
退職給付に係る資産	—	122
繰延税金資産	—	0
事業保険積立金	1,435	1,408
その他	42	33
貸倒引当金	△3	—
投資その他の資産合計	14,294	11,340
固定資産合計	29,129	25,919
資産合計	46,463	45,584

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当連結会計年度 (2019年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	788	727
リース債務	22	10
未払金	350	303
未払費用	590	565
未払法人税等	297	153
賞与引当金	675	604
役員賞与引当金	21	28
その他	161	163
流動負債合計	2,907	2,557
固定負債		
リース債務	12	2
繰延税金負債	99	4
退職給付に係る負債	43	81
その他	70	83
固定負債合計	226	172
負債合計	3,134	2,729
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,475	3,475
資本剰余金	2,575	2,575
利益剰余金	37,351	37,205
自己株式	△1,286	△1,287
株主資本合計	42,115	41,969
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	968	665
繰延ヘッジ損益	1	0
為替換算調整勘定	223	204
退職給付に係る調整累計額	19	14
その他の包括利益累計額合計	1,213	885
純資産合計	43,328	42,855
負債純資産合計	46,463	45,584

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
売上高	19,579	19,336
売上原価	14,599	14,670
売上総利益	4,979	4,666
販売費及び一般管理費		
運賃及び荷造費	456	443
従業員給料及び賞与	1,081	1,061
賞与引当金繰入額	163	152
役員賞与引当金繰入額	21	28
退職給付費用	28	33
福利厚生費	253	249
減価償却費	322	274
試験研究費	560	575
その他	1,120	1,127
販売費及び一般管理費合計	4,009	3,948
営業利益	970	718
営業外収益		
受取利息	53	40
受取配当金	25	25
為替差益	18	—
投資事業組合運用益	147	—
物品売却益	70	68
その他	27	24
営業外収益合計	342	159
営業外費用		
支払利息	0	0
売上割引	75	79
為替差損	—	44
その他	0	7
営業外費用合計	76	132
経常利益	1,236	745
特別利益		
固定資産売却益	3	1
投資有価証券売却益	342	—
特別利益合計	345	1
特別損失		
固定資産売却損	0	0
減損損失	30	27
固定資産除却損	29	28
特別損失合計	60	56
税金等調整前当期純利益	1,521	691
法人税、住民税及び事業税	326	133
法人税等調整額	△16	37
法人税等合計	310	171
当期純利益	1,211	520
親会社株主に帰属する当期純利益	1,211	520



(連結包括利益計算書)

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
当期純利益	1,211	520
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	27	△302
繰延ヘッジ損益	1	△1
為替換算調整勘定	18	△18
退職給付に係る調整額	△19	△5
その他の包括利益合計	27	△328
包括利益	1,238	192
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	1,238	192
非支配株主に係る包括利益	—	—

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	3,475	2,575	36,750	△1,286	41,514
当期変動額					
剰余金の配当			△610		△610
親会社株主に帰属する当期純利益			1,211		1,211
自己株式の取得				△0	△0
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					-
当期変動額合計	-	-	601	△0	600
当期末残高	3,475	2,575	37,351	△1,286	42,115

	その他の包括利益累計額				
	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利益 累計額合計
当期首残高	941	-	205	39	1,186
当期変動額					
剰余金の配当					
親会社株主に帰属する当期純利益					
自己株式の取得					
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	27	1	18	△19	27
当期変動額合計	27	1	18	△19	27
当期末残高	968	1	223	19	1,213

	純資産合計
当期首残高	42,701
当期変動額	
剰余金の配当	△610
親会社株主に帰属する当期純利益	1,211
自己株式の取得	△0
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	27
当期変動額合計	627
当期末残高	43,328

当連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	3,475	2,575	37,351	△1,286	42,115
当期変動額					
剰余金の配当			△665		△665
親会社株主に帰属する当期純利益			520		520
自己株式の取得				△0	△0
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					-
当期変動額合計	-	-	△145	△0	△145
当期末残高	3,475	2,575	37,205	△1,287	41,969

	その他の包括利益累計額				
	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利益 累計額合計
当期首残高	968	1	223	19	1,213
当期変動額					
剰余金の配当					
親会社株主に帰属する当期純利益					
自己株式の取得					
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	△302	△1	△18	△5	△328
当期変動額合計	△302	△1	△18	△5	△328
当期末残高	665	0	204	14	885

	純資産合計
当期首残高	43,328
当期変動額	
剰余金の配当	△665
親会社株主に帰属する当期純利益	520
自己株式の取得	△0
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	△328
当期変動額合計	△473
当期末残高	42,855

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	1,521	691
減価償却費	1,668	1,851
減損損失	30	27
賞与引当金の増減額(△は減少)	127	△71
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△1	7
貸倒引当金の増減額(△は減少)	0	△3
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△97	4
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	—	△95
受取利息及び受取配当金	△78	△66
投資事業組合運用損益(△は益)	△147	—
支払利息	0	0
投資有価証券売却損益(△は益)	△342	—
固定資産売却損益(△は益)	△2	△1
固定資産除却損	29	28
売上債権の増減額(△は増加)	△403	379
たな卸資産の増減額(△は増加)	△321	△553
仕入債務の増減額(△は減少)	△10	△56
その他の流動資産の増減額(△は増加)	75	10
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△78	△47
未払消費税等の増減額(△は減少)	△232	20
その他	△25	33
小計	1,710	2,159
利息及び配当金の受取額	103	87
利息の支払額	△0	△0
法人税等の支払額	△214	△272
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,599	1,974
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有価証券の取得による支出	△852	—
有価証券の売却及び償還による収入	4,603	2,051
有形固定資産の取得による支出	△1,547	△1,518
有形固定資産の売却による収入	5	2
有形固定資産の除却による支出	△18	△25
無形固定資産の取得による支出	△129	△161
投資有価証券の取得による支出	△7,160	△2,733
投資有価証券の売却及び償還による収入	917	300
定期預金の預入による支出	△0	△0
定期預金の払戻による収入	255	—
保険積立金の積立による支出	△70	△71
保険積立金の解約による収入	38	112
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,958	△2,043
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
リース債務の返済による支出	△22	△22
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△610	△665
財務活動によるキャッシュ・フロー	△633	△688
現金及び現金同等物に係る換算差額	15	△15
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△2,977	△773
現金及び現金同等物の期首残高	9,924	6,947
現金及び現金同等物の期末残高	6,947	6,173

## (5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(表示方法の変更)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」の適用に伴う変更)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日。以下「税効果会計基準一部改正」という。)を当連結会計年度の期首から適用し、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示する方法に変更しております。

この結果、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動資産」の「繰延税金資産」が313百万円減少し、「固定負債」の「繰延税金負債」が313百万円減少しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## 1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、主に動力伝導装置等の生産・販売と不動産賃貸事業を展開しております。動力伝導装置等の生産・販売につきましては、製品別の戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社は製品・サービス別のセグメントから構成されており、「減速機」、「歯車」並びに「不動産賃貸」の3つを報告セグメントとしております。

## 2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表を作成するために採用される会計方針に準拠した方法であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

## 3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自2017年4月1日 至2018年3月31日)

(単位:百万円)

	減速機	歯車	不動産賃貸	合計
売上高				
外部顧客への売上高	14,415	5,016	146	19,579
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	14,415	5,016	146	19,579
セグメント利益	732	144	93	970
セグメント資産	11,221	4,242	626	16,090
その他の項目				
減価償却費	1,141	503	22	1,668
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	1,199	294	—	1,493

(注) 減価償却費、有形固定資産及び無形固定資産の増加額には長期前払費用と同費用に係る償却費が含まれております。

当連結会計年度(自2018年4月1日 至2019年3月31日)

(単位:百万円)

	減速機	歯車	不動産賃貸	合計
売上高				
外部顧客への売上高	14,587	4,604	145	19,336
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	14,587	4,604	145	19,336
セグメント利益	527	100	90	718
セグメント資産	13,173	4,886	607	18,668
その他の項目				
減価償却費	1,316	513	21	1,851
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	850	597	3	1,451

(注) 減価償却費、有形固定資産及び無形固定資産の増加額には長期前払費用と同費用に係る償却費が含まれておりません。

## 4. 報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

資産	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	16,090	18,668
全社資産(注)	30,373	26,916
連結財務諸表の資産合計	46,463	45,584

(注) 全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない有価証券及び投資有価証券であります。

(単位:百万円)

その他の項目	報告セグメント計		調整額		連結財務諸表計上額	
	前連結 会計年度	当連結 会計年度	前連結 会計年度	当連結 会計年度	前連結 会計年度	当連結 会計年度
有形固定資産及び無形固定資産の 増加額	1,493	1,451	226	173	1,720	1,625

(注) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額は、一般間接部門並びに研究開発部門の設備投資額であります。

## 【関連情報】

前連結会計年度(自2017年4月1日 至2018年3月31日)

## 1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

## 2. 地域ごとの情報

## (1) 売上高

(単位:百万円)

日本	米国	中国	アジア	ヨーロッパ	合計
15,743	1,547	951	1,258	78	19,579

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

## (2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

## 3. 主要な顧客ごとの情報

連結損益計算上の売上高の10%以上を占める外部顧客が存在しないため、記載を省略しております。

当連結会計年度（自2018年4月1日 至2019年3月31日）

## 1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

## 2. 地域ごとの情報

## (1) 売上高

(単位：百万円)

日本	米国	中国	アジア	ヨーロッパ	合計
15,365	1,571	1,017	1,259	122	19,336

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

## (2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

## 3. 主要な顧客ごとの情報

連結損益計算上の売上高の10%以上を占める外部顧客が存在しないため、記載を省略しております。

## 【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度（自2017年4月1日 至2018年3月31日）

(単位：百万円)

	減速機	歯車	不動産賃貸	全社・消去	合計
減損損失	30	—	—	—	30

当連結会計年度（自2018年4月1日 至2019年3月31日）

(単位：百万円)

	減速機	歯車	不動産賃貸	全社・消去	合計
減損損失	—	23	—	3	27

(注) 「全社・消去」の金額は、セグメントに帰属しない全社資産に係る減損損失であります。

## 【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

該当事項はありません。

## 【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

## (1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
1株当たり純資産額	1,562.45円	1,545.38円
1株当たり当期純利益	43.67円	18.75円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	1,211	520
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)	1,211	520
期中平均株式数(千株)	27,731	27,731

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。



## 4. 補足情報

## (1) 経営成績

(百万円未満切捨、%)

区分	前期 (2017.4~ 2018.3)		当期 (2018.4~ 2019.3)		増減 (当期-前期)		次期予想 (2019.4~ 2020.3)		増減 (次期-当期)	
	金額	売上比	金額	売上比	金額	増減率	金額	売上比	金額	増減率
売上高	19,579	100.0	19,336	100.0	△242	△1.2	20,000	100.0	663	3.4
営業利益	970	5.0	718	3.7	△251	△26.0	900	4.5	181	25.3
経常利益	1,236	6.3	745	3.8	△491	△39.7	950	4.8	204	27.4
親会社株主に帰属 する当期純利益	1,211	6.2	520	2.7	△691	△57.1	700	3.5	179	34.6

## (2) セグメント別売上高及びセグメント別利益

(百万円未満切捨、%)

区分		前期 (2017.4~ 2018.3)		当期 (2018.4~ 2019.3)		増減 (当期-前期)		次期予想 (2019.4~ 2020.3)		増減 (次期-当期)	
		金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率	金額	構成比	金額	増減率
減速機	国内売上	10,850	75.3	10,801	74.0	△49	△0.5	11,170	74.5	368	3.4
	海外売上	3,565	24.7	3,786	26.0	220	6.2	3,830	25.5	43	1.2
	計	14,415	100.0	14,587	100.0	171	1.2	15,000	100.0	412	2.8
	営業利益	732	5.1	527	3.6	△205	△28.0	700	4.7	172	32.7
歯車	国内売上	4,746	94.6	4,419	96.0	△326	△6.9	4,650	95.7	230	5.2
	海外売上	270	5.4	184	4.0	△85	△31.6	210	4.3	25	13.5
	計	5,016	100.0	4,604	100.0	△412	△8.2	4,860	100.0	255	5.5
	営業利益	144	2.9	100	2.2	△43	△30.3	120	2.5	19	19.3
不動産 賃貸	国内売上	146	100.0	145	100.0	△1	△1.0	140	100.0	△5	△3.5
	海外売上	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	計	146	100.0	145	100.0	△1	△1.0	140	100.0	△5	△3.5
	営業利益	93	63.6	90	62.2	△2	△3.2	80	57.1	△10	△11.3
全社	国内売上	15,743	80.4	15,365	79.5	△377	△2.4	15,960	79.8	594	3.9
	海外売上	3,836	19.6	3,971	20.5	134	3.5	4,040	20.2	68	1.7
	計	19,579	100.0	19,336	100.0	△242	△1.2	20,000	100.0	663	3.4
	営業利益	970	5.0	718	3.7	△251	△26.0	900	4.5	181	25.3

(注) 営業利益の構成比は当該セグメントの売上高比であります。

## (3) 設備投資額、減価償却費及び研究開発費

(百万円未満切捨、%)

区分	前期 (2017.4~ 2018.3)	当期 (2018.4~ 2019.3)	増減 (当期-前期)		次期予想 (2019.4~ 2020.3)	増減 (次期-当期)	
			金額	増減率		金額	増減率
設備投資額	1,720	1,625	△95	△5.5	1,600	△25	△1.6
減価償却費	1,668	1,851	182	11.0	1,800	△51	△2.8
研究開発費	560	575	15	2.7	630	54	9.4